

こんにちは！  
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「野菜処理機の減量率」「11月の野菜」の記事をお届けします。秋の長雨、日照不足の影響で野菜の高騰が続きましたが、11月、露地の冬野菜が出始めるとともに落ち着きを取り戻します。  
(担当：齊藤)

## 野菜処理機の減量率

丸金(株)にて野菜処理機(MDT-1000)が本格稼働し、減量率が出ました。平均29トン/月の野菜くず(葉物中心)を機器に投入し、2トン/月の野菜繊維などの生成物を取り出します。減量率93%、7%残りが目処になります。



丸金(株)の順調な減量を受けて、(株)ほったでも同微生物(サーベリックス)による分解試験が始まりました。(株)ほったでは現状、減量率目処90%(バイオ菌)、塩蔵品との相性もあるためトライアルを実施します。



たった3%の違い?と思われるかもしれませんが、例えば丸金(株)で減量率90だと2,9トンの取り出し量。この差0.9トンの処理代がそのままコストダウンに繋がります。投入物により、減量率が変わるので、実態に即した試験が必要です。

## 11月の野菜

10月初旬、豊田市内で珍しい花が咲いていたので、おもわず車を止め撮影しました。

ソバの花です。  
ソバは寒い、痩せた土地で作るイメージがあったので住宅地近隣の田んぼの栽培に驚きました。  
11月、新ソバの季節です。



10月20日過ぎ、大根畑がエンエンと続きます。  
浜松エリアは野菜の大産地です。

大根はまだ、ニンジンくらいの太さで出荷までもう少し時間がかかりますが、冬野菜の王様は着実に育っています。



提携農家の鈴盛農園にてニンジンの販売が始まりました。葉付きでまだマルシェ販売限定ですが、冬野菜の季節はもうそこまで来ています。